

2025 年 月 日

当院で残存聴力活用型人工内耳植込術を受けられた患者様へのお知らせとお願い

当診療科では厚生労働省の研究班が実施する「残存聴力活用型人工内耳植込術 術後成績に関する後ろ向き観察研究」に協力しております。この調査で得られた成果は、適切な治療法の選択などに役立つと考えられます。当診療科で 2023 年 8 月以降に残存聴力活用型人工内耳植込術を受けられた方について、調査へのご協力とご理解をお願い申し上げます。

●ご協力いただきたいこと

- ・あなたの残存聴力活用型人工内耳植込術に関する情報（手術時年齢、性別、カルテに記載されている聴力検査、装用閾値、装用下語音検査結果など）を、調査のために使わせてください。

●ご協力にあたり、ご理解いただきたいこと

- ・あなた個人に対して、お電話やお手紙などで直接問い合わせることは一切ありません。調査はあなたの主治医がカルテに記載されている過去の検査結果や治療内容などの情報を、所定の調査票に記入することにより行います。調査票は、この調査を担当している信州大学医学部人工聴覚器学講座へ送られます。
- ・あなた個人の情報は厳重に管理いたします。調査票には、あなたの性別、年齢、聴力検査等の結果を記載します。カルテ番号、氏名、住所、電話番号など、個人を特定できる情報は記載しません。調査票の内容は、プライバシー保護のため、個人が特定できないような ID 番号に置き換えて集計します。調査結果を公表する場合も、個人を特定できる情報が出ることはありません。

この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、担当医または下記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。

研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。ただし、参加取り消しの申し出をいただいたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を廃棄できないこともあり、引き続き使わせていただくことがあります。

〒390-8621 長野県松本市旭 3-1-1 信州大学医学部人工聴覚器学講座内

厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患政策研究事業

難治性聴覚障害に関する調査研究班事務局 担当:宇佐美真一

電話番号:0263-31-3802